

—資料の分布のようすや特徴を, 1つの数値で表すことができるようになろう②—

学習日 月 日 年 組 番 氏名

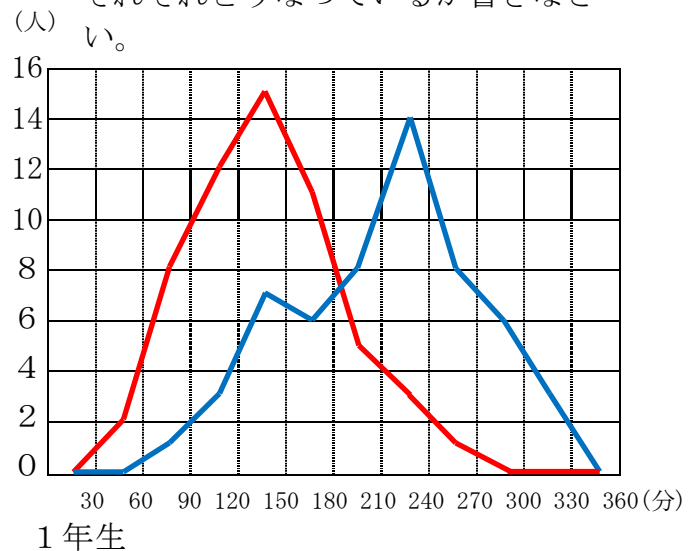
1 次の表は, B中学校の1年生と3年生について, ある日の家庭学習時間を調べ, その結果を度数分布表にまとめたものである。(1)~(4)の間に答えなさい。  
(p. 206)

階級 (分)	度数(人)	
	1年生	3年生
以上 未満		
0 ~ 30	0	0
30 ~ 60	2	0
60 ~ 90	8	1
90 ~ 120	12	3
120 ~ 150	15	7
150 ~ 180	11	6
180 ~ 210	5	8
210 ~ 240	3	14
240 ~ 270	1	8
270 ~ 300	0	6
300 ~ 330	0	3
計	57	56

- (1) (ア)~(ウ)にことばを入れなさい。  
 度数分布表で, 度数のもっとも多い階級の真ん中の値を(ア) または (イ) という。階級の真ん中の値のことを, (ウ) という。
- (2) 1年生と3年生の家庭学習時間の最頻値をそれぞれ求めなさい。

(3) 1年生の家庭学習時間の最頻値と3年生の家庭学習時間の最頻値を比べて, わかることを書きなさい。

(4) 次の図は, 1年生と3年生の家庭学習時間の度数折れ線です。それぞれの最頻値の位置に縦線をかき入れ, 最頻値の右側と左側では, 分布のようすはそれぞれどうなっているか書きなさい。



1年生

3年生

答 A \_\_\_\_\_, B \_\_\_\_\_

1

階級 (分)	度数(人)	
	1年生	3年生
以上 未満		
0 ~ 30	0	0
30 ~ 60	2	0
60 ~ 90	8	1
90 ~ 120	12	3
120 ~ 150	15	7
150 ~ 180	11	6
180 ~ 210	5	8
210 ~ 240	3	14
240 ~ 270	1	8
270 ~ 300	0	6
300 ~ 330	0	3
計	57	58

(1)

度数分布表で、度数のもっとも多い階級の真ん中の値を(ア 最頻値)または(イ モード)という。階級の真ん中の値のことを、(ウ 階級値)という。

(2)

1年生は120分以上150分未満の階級の度数がもっとも多いから最頻値は、

$$\frac{120+150}{2} = \frac{270}{2} = 135$$

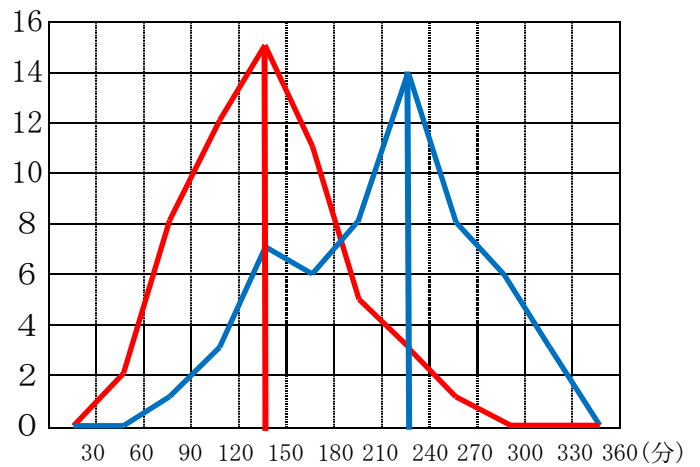
3年生は210分以上240分未満の階級の度数がもっとも多いから最頻値は、

$$\frac{210+240}{2} = \frac{450}{2} = 225$$

答 A 135分, B 225分

(3) 解答例

3年生の最頻値は、1年生の最頻値より90分も多く、3年生は1年生よりも長い時間、学習していることがわかる。

(4)  
(人)

1年生 解答例

最頻値の右側と左側は、ほぼ対称に分布している。

3年生 解答例

最頻値の左側が右側より多く分布し、かたよりのがある。